

ひがしやま幼稚園保護者説明会における主な質疑（要旨）

7月27日 13:35~15:05 発言者 14人

	質 問	回 答
1	今後、区立幼稚園が2園廃園になった場合、残り3園の定員は現状が維持されるのか、増やすのか。	定員は現状のままを考えている。定員を増やすということは、施設の面から現実問題として難しい。
2	一番心配なのは、抽選になってはズレたら、どうしたらよいかということだ。	ひがしやま幼稚園の定員を拡充するのは難しい。平成25年3月末を目途に廃園し、保育園にしていこうという方向で進めているので、本日もそうだが9月には、今年は募集するが来年は募集しませんということをアナウンスしていく。そうした中で皆さんも、一つの選択肢として私立幼稚園も含めて考えていただきたい。
3	認定こども園は入園基準が変わるのか。	区が考えている認定こども園は、幼稚園型であり、他の例では基本的に抽選が多いが、今の時点では決まっていない。 認定こども園は、長時間・短時間の定員を明らかにする必要がある。人数配分をどのようにするかは、今後検討していく。
4	保育園と認定こども園の違いについて、保育園は0歳児から入れるが、認定こども園は何歳児から入れるのか。	区は幼稚園型の認定こども園を考えているが、幼稚園型にも2つある。単独型は一般的に3、4、5歳。年齢区分型は幼稚園に認可外保育施設を併設するので0、1、2歳からもある。 みどりがおか幼稚園は施設の大規模改修等を行わないので、部屋数からすると、一般的には3、4、5歳の単独型が考えられる。げっこうはら幼稚園は改築なので、基本的には単独型をベースに、今の時点では年齢区分型も可能かどうか含めて検討していく。
5	ひがしやま幼稚園は将来の改築時に認定こども園になるということだが、0歳からの保育は可能か。	ひがしやま幼稚園の改築にあたっては、今後どのぐらいの広さでどのような建物としていくのか、その前段として何歳からやるのかも含めて検討していく。
6	国の動きは幼稚園も保育園もこども園(仮称)に、ということだが、ふどう幼稚園とからすもり幼稚園は、保育園からこども園(仮称)になるのか。	国の動きとしては、幼稚園も保育園もこども園(仮称)に移行していくとしている。一旦保育園になるが、最終的にはこども園(仮称)になる。
7	私たちの子どもがそうした過渡期で、入りにくくなるということか。	国の動きとしては、緩やかな移行を目指している。保育園は待機児の問題があり、幼稚園も、長時間保育の体制が直ちには整わないという状況があり、時間がかかる。 区は現行制度の中で3園を認定こども園へ移行させ、現在の保育ニーズに応えるために2園を保育園にしていこうということである。国の動きはあるが、区としては、今は今の制度の中で区民の保育ニーズに応えていく。
8	からすもり幼稚園が、平成23年度までしか募集しないということは平成24年度のひがしやま幼稚園の倍率が高くなり、私立の3年保育を考えなければいけないということか。 ひがしやま幼稚園を第一希望と考えているが、過去何年間、定員に対してどのぐらいの応募があったのか。	平成18年22人、平成19年36人、平成20年39人、平成21年27人、平成22年29人の応募状況である。抽選になったのは5ヵ年で2回だが、いずれも4月までには補欠で待っていた人も入園できた。

	質 問	回 答
9	来年は今までよりも応募が増えると考えてよいか。	今年度は、からずもり幼稚園も募集するが、来年度は、からずもり幼稚園の平成24年度入園募集をしないという方向なので、抽選の可能性は高い。
10	区立と私立で募集の時期がずれているが、来年度以降の区立の募集の時期を前倒しにすることはできないか。	私立幼稚園は、通常10月15日頃に応募書類配付、11月1日から申し込みである。区立幼稚園は、11月5日号の区報で募集日程を掲載し、受付は1月10日前後となる。募集の時期については、今までと同じように考えている。
11	今2歳児の子がいて、2年制を考えている。私立の年中クラスと区立の併願を考えた場合、入園手続は私立が11月、区立は翌年1月となる。もし、私立を受けずに区立の募集まで待って、抽選にもれた場合、それから私立の年中クラスを探すとなるとぎりぎりである。そのあたりのフォローはあるのか。	併願される場合、募集日程は私立が先なので、まず私立を確保したうえで区立というのも一つの方法と思う。区立だけに応募し抽選でもれた場合、4歳児で入れる私立幼稚園がどのぐらいあるか、ということもある。私立にいつのタイミングで申し込むのがよいのか、情報を収集して欲しい。
12	ふどう幼稚園が近いのだが、7月25日の区報を見てここに来た。これまでどおり区立幼稚園募集があるものと考えている2歳児の子どもを持つ人で、募集がなくなることを知らない人も多いのではないかと。もっと掲示板を活用するなど、周知方法について考えて欲しい。	今回の説明会は、6月末に7月中に説明会を実施して欲しい、という意見が多数寄せられたため、急遽区立幼稚園を会場として調整し、この日程とした。しかし、区報原稿の締め切りは1ヶ月前となっていたため区報7月25日号掲載となった。 説明会は、主に未就園児・在園児の保護者に参加いただきたいということで、周知期間の短さを補うために、7月7日あたりから区立幼稚園や児童館等からチラシを配布させていただいた。区内全域の公営掲示板には掲示した。案内の仕方について不備があったことをお詫びする。今後の周知方法についても考えていく。
13	ふどう幼稚園を認定こども園にということはないのか。	認定こども園にしていくためには、長時間保育や給食の提供などのため、スタッフの充実が必要である。5園全部を充実ということではなく、スクラップ&ビルドも考えていく必要がある。区立幼稚園の適正配置として、5園のうち3園は認定こども園、2園は保育園にして、今の保育需要に添えていくというのが、この基本的方向である。
14	幼稚園と保育園では管轄が違う。認定こども園の場合は、どういう職員が加わるのか。	区が目指しているのは幼稚園型の認定こども園なので、9時から2時までの時間帯は幼稚園教育として位置づけて、幼稚園教諭を配置し、それ以外の時間帯は保育士とのローテーションで運営していく。
15	今までの情報やこれからの情報を、ホームページで把握できるのか。毎日見るわけには行かないので、何日に1回とかチェックすれば把握できるのか。	情報については、なるべく早く出して行きたい。区立幼稚園見直しに関しては、文教・子ども委員会に報告しながら進めていくので、議会日程を見ながらチェックしていただければと思う。
16	説明会についてはホームページに載せたのか。	説明会についてホームページに載せた。区のトップページか、最新情報の一覧にある。8月28日(土)に、総合庁舎で同じ内容の説明会を行う予定であり、改めて周知を行う。